

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年2月24日

事業所名 セカンドハウス彩祐結嶋南の家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	29	3	・物の配置など、スタッフ間で相談して過ごしやすい環境づくりをしている。 ・物やロッカーの配置を変えて、広く支援室が使用できるようになっている。	・基準は満たしているが、物品の配置等で狭く感じることがある。
	2	職員の配置数は適切である	32	0	・基本人員よりも多く配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	30	2	・スロープを設置し、配慮が必要な児童が利用しやすいクラスを設けている。	・必要に応じてバリアフリー化していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	31	1	・月に1回、クラス会議、全体会議、状況に応じて申し送り、ケース検討会などを行っている。 ・月間自己評価シートの活用、提出など。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	31	1	・アンケートを実施以外でも、面談時等の中で保護者様からのご意見の聞き取りを行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	15	13	未回答4 ・掲示板への貼り出しを行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	14	15	未回答3	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	31	1	・研修係による希望の研修の聞き取りや、全体会議後の研修機会の場を設けている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	32	0	・職員間で話し合いを行い、計画書類を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	32	0	・共通のアセスメントツールを使用して、一人一人の支援に繋げている。	

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	31	1	・クラス内で職員一人一人が立案し、活動内容を話し合い、同じような内容にならないようにしている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	32	0	・季節に応じた活動内容も含め、マンネリ化しないようにしている。 ・身体や感覚、造形などバランスを考えている。	・活動内容がマンネリ化しないよう、継続的に工夫、検討していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	25	6	・午前、午後とも課題を持った活動を決め、実施している。	・休日や長期休暇の際には、ゆったり過ごせるように配慮しながら、メリハリをつけた活動となるよう支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	32	0	・児童の状況に合わせて、対応・支援を出来るように作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	26	5	未回答1 ・平日の児童登所前の午前中に、少しの時間でも集まり、活動の内容を話し合い、情報を共有している。 ・kintoneアプリの申し送りを活用。	・日々申し送りしているが、より確かな共有となるよう時間等を工夫して行っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	20	12	・当日中の振り返りは、勤務状況や児童の利用状況により難しい場合もあるが、後の営業日において行い、報告、共有している。 ・kintoneアプリの申し送りを活用。	・職員間で情報の共有はこまめに行い、より良い支援に繋げていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	28	3	未回答1 ・日々の支援記録を適切に行い、課題がある場合にはその検証と改善に繋げている。	・全スタッフが改善出来たと思えるよう、日々検証を継続していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	32	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	28	2	未回答2	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	30	1	未回答1 ・日々深く関わっている職員の出席が望ましいが、時間帯によっては出席が難しい場合もある為、日頃からの情報共有を大切にしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	30	0	未回答2	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	31	0	未回答1	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	24	4	未回答4 ・個別の面談を通して情報共有を行い、適切な相互理解につながるようになっている。	面談に参加したスタッフが、全スタッフへ情報を共有していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	25	4	未回答3	面談に参加したスタッフが、全スタッフへ情報を共有していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	23	4	未回答5	面談に参加したスタッフが、全スタッフへ情報を共有していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	14	17	未回答1 ・現在は長期休暇期間中の放課後児童クラブの受け入れ時に交流の機会を持っている。	・様々な場面で交流できる機会を今後も模索していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	14	13	未回答5	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	31	0	未回答1 ・その日の活動や過ごし方を具体的に伝え、課題がある際には共通理解を持って支援できるようにしている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	14	13	未回答5 ・今年度はコロナの影響により未実施。 ・例年の研修としては保護者様を対象としたアンガーマネジメント研修等を行うなどしている。		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	30	0	未回答2	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	30	1	未回答1 ・相談の内容や必要に応じて、対応者を代わるなどし、適切な助言につながるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	24	未回答2 ・コロナにより今年度は実施できなかった。	以前は年間定期的にも実施していた。出来る状態になったら再度検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	30	1	未回答1	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	20	10	未回答2 ・コロナにより行事が中止となり行っていない。 ・お知らせを作成して配るなどし活動内容を伝えている。	
	35	個人情報に十分注意している	31	0	未回答1	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	31	0	未回答1	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	14	15	未回答3 ・コロナにより未実施 ・例年は夏祭りを行っている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	29	2	未回答1 ・感染症対応は、定期的に研修を実施している。その他の緊急時の対応についてはフローチャートなど作成している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	31	1	・火災、地震時の避難訓練を定期的に行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	26	5	未回答1 ・アンガーマネジメント講習等の内部研修により、意識付けを行っている。 ・日頃の子どもの様子を観察・共有し、変化に早期に気付くことが出来るようにしている。	・虐待防止の研修を継続して実施していく。「いいえ」回答の5名は中途職の為、来年度実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	32	0	・年に1回、同意書を頂いている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	30	1	未回答1 ・指示書はないが、保護者様より聞き取りを行い、緊急時に備えて定期的にクラス内で情報共有を行っている。 ・スタッフで1か月に1回、対応方法などの確認を行っている。	職員がすぐに確認出来るようにアレルギー表を作成し、誤食がないようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	32	0	・kintoneアプリを活用している。	